

最終選考会・表彰式

- 13:00 開会
主催者挨拶 福島県商工労働部長 松本 雅昭
- 13:05 ファイナリスト・審査員紹介
- 13:20 ファイナリストプレゼンテーション
- No1. 株式会社ナガヨシ 代表取締役 金子 弘行氏 (石川町)
「微細射出成型を得意とするものづくり企業の目指すヒト生産補助医療技術 (体外受精治療) の成功率と安全性向上のための総合支援システムの創造並びに製品化」
- No2. 「AIを活用したバイオデータ可視化サービス」 川端 瞭英氏 (東京都)
- No3. 株式会社エシカル郡山 ReSTAR プロジェクトマネージャー 高橋 慶香氏 (郡山市)
「諦めていた職業病に立ち向かう 作業療法士だからこそできる真の健康経営支援事業」
- No4. 株式会社 家守舎桃ノ音 代表取締役 上神田健太氏 (国見町)
「美味しく、楽しく、カッコいい。過疎地域のライフスタイル革命!」
- No5. ベリーズパーク郡山 ブルーベリーコンシェルジュ 城 清里仲氏 (郡山市)
「見て・食べて・感じて・知れる美味しさ!日本初のブルーベリーミュージアム!」
- No6. トレカスタート 代表 保田井悠希氏 (いわき市)
「カードゲーム交流によるコミュニティ作成・活性化 それに伴う市場活性化事業」
- No7. 起業サークル (日本大学工学部) 会長 菅原 由騎氏 (郡山市)
「グリーンフィールド革命～湖南町の耕作放棄地活用による次世代農業への挑戦～」
- No8. 株式会社キノシタコーポレーション 代表取締役 木下 秀之氏 (福島市)
「福島のソルフード『凍天』 破産企業からの事業継承そして全国展開へ」
- No9. 株式会社ギャクサン 代表取締役 山子 颯氏 (郡山市)
「AI経営管理 SaaS『GYAKUSAN』で、中小企業の生産性向上を目指す」
- 16:15 過年度最優秀者プレゼンテーション
- 【2021年度最優秀賞】
株式会社バイオマスレジジョンホールディングス 取締役副社長 中谷内 美昭氏
- 【2022年度最優秀賞】
トレ食株式会社 代表取締役 沖村 智氏
- 17:00 結果発表・表彰式



- ◆最優秀賞 (知事賞)
賞状・賞金20万円
- ◆優秀賞
賞状・賞金5万円
- ◆特別賞
賞状
その他、企業賞も贈賞予定

審査基準 審査は以下の観点で行います。

起業家精神、熱意	社会性
新規性、斬新性	事業性
プランの表現力・協力体制等	



スタートアップの地
ふくしまの

創造

福島の未来をつくる、世界を動かす、
熱いビジネスプランを聞け!

最終選考会
・表彰式

令和6年
1月11日 [木]
午後1時スタート

オーディエンス賞 新設

今年度のアワードでは、視聴者の投票で決まる「オーディエンス賞」を設けています。投票フォームは、右側に記載している2次元バーコードからアクセスできます。



オーディエンス賞に輝いたファイナリストに投票してくれた人の中から抽選で3名に、ホップジャパン (田村市) のクRAFTビールセットをプレゼントします。

YouTube「ふくしまベンチャーアワード公式チャンネル」で、最終選考会・表彰式を生配信 ▶▶▶



主催 福島県

後援 東北経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部、東邦銀行、福島銀行、大東銀行、日本政策金融公庫、朝日新聞福島総局、読売新聞東京本社福島支局、毎日新聞福島支局、日刊工業新聞社福島支局、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、福島県中小企業団体中央会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県経済同友会、福島県中小企業家同友会、福島県経営者協会連合会、一般社団法人福島県中小企業診断協会、福島県信用保証協会、一般社団法人福島県銀行協会、福島県信用金庫協会、福島県信用組合協会、公立大学法人会津大学、福島県インキュベーション施設ネットワーク協議会



ファイナリスト紹介

一次審査、二次審査を勝ち抜いたファイナリストがビジネスプランを熱く語ります！

No.1 微細射出成型を得意とするものづくり企業の目指すヒト生殖補助医療技術(体外受精治療)の成功率と安全性向上のための総合支援システムの創造並びに製品化



金子 弘行 かねこ ひろゆき
株式会社 ナガコシ 代表取締役

ナガコシでは、金型・成形の技術を生かし、体外受精治療の成功率向上に有効な受精卵の培養や凍結保存に使う器具を開発しました。培養器具は子宮内環境を再現した構造で、受精卵の発育を促します。さらに、ハート形のくぼみがある凍結保存器具は適量の保存液を注入でき、卵子の紛失を防ぎます。金子さんは「私たちの取り組みを広く普及させ、少子化問題の解決に貢献していきたい」と力強く語っています。


No.2 AIを活用したバイオデータ可視化サービス



川端 瞭英 かわはた りょうえい

川端さんが取り組むビジネスは、『ユーザーの遺伝情報を基に、個別化された健康管理とライフスタイルのアドバイスを提供する対話型AIシステム』です。このシステムは、遺伝子検査のデータから個々の体質や健康リスクを分析し、食事、運動、睡眠などの生活習慣を向上させるソリューションを提供してくれます。川端さんは「最終選考会では、全力を尽くして実現に向けた思いを伝える」と誓っています。


No.3 諦めていた職業病に立ち向かう作業療法士だからこそできる真の健康経営支援事業



高橋 慶香 たかはし ちか
株式会社エシカル郡山 ReSTAR プロジェクトマネージャー

高橋さんは、作業療法士が事業所に向き健康経営を支援する試みに取り組んでいます。この試みは、福島県内では初めての取り組みだそうです。腰痛や肩こりなどの「職業病」の原因を事業所ごとに分析し、業務の合間にできる運動や職業病を防ぐための業務環境の改善策を提案します。「名ばかりの健康経営で終わらせない。働く世代と企業の未来を本気で考えるからこそ、困難な状況でも挑み続けよう」と言葉に力を込めました。


No.4 美味しく、楽しく、カッコいい。過疎地域のライフスタイル革命！



上神田 健太 かみかんだ けんた
株式会社 家守杏桃ノ音 代表取締役

上神田さんは国見町のJR藤田駅前に、レストランとコワーキングスペース、シェアオフィスを備えた複合施設「アカリ」を4年前にオープンさせました。施設を運営するうちに、「もっと面的に事業を広げていきたい」と考え、環境性能の高い住宅地「国見エコタウン 森のスマカ」事業に取り組みました。「アカリ」と「スマカ」が繋がって、地域の食と環境、暮らしが一体となったライフスタイルを国見町で実現させます」と目を輝かせています。


No.5 見て・食べて・感じて・知れる美味しさ！日本初のブルーベリーミュージアム！



城 清里伸 じょう せりな
ペリーズパーク郡山 ブルーベリーコンシェルジュ

城さんは東京都内からUターンし、2018年にブルーベリー農家として就農しました。きっかけは、ふるさとでのブルーベリー狩りでした。あまりの美味しさに、闘病・出産・子育ての辛さ、悩みが一気に吹き飛んだそうです。2021年には、「ペリーズパーク郡山」を本格オープンさせました。カフェなどを併設しながら、お子様から高齢の方まで、様々な品種を食べ比べて楽しめる農園を目指しています。「地域に笑顔の輪を広げていきたい」と自分らしい世界を描いています。

No.6 カードゲーム交流によるコミュニティ作成・活性化 それに伴う市場活性化事業



保田井 悠希 ほたい ゆうき
トレカスタート 代表

保田井さんは、ITエンジニアとしての従事経験と趣味のトレーディングカードゲーム(TCG)の知識を活かしたビジネスをスタートさせました。中小TCGショップが低コストで利用できるサブスクリプション型ECサイトを運営する他、カードゲームの大会を開催する等の活動を行っています。「世界各地でTCGを楽しんでいる方々のコミュニティが、本事業によって少しでも広がればうれしい」と笑みを浮かべています。


No.7 グリーンフィールド革命～湖南町の耕作放棄地活用による次世代農業への挑戦～



菅原 由騎 すがわら ゆうき
起業サークル(日本大学工学部) 会長

菅原さんは日本大学工学部の2年生です。工学部の可能性を超えたチャレンジをしようと、昨年2月に大学内で「起業サークル」を立ち上げ、地域のにぎわい創出を目指した事業に取り組んでいます。4月からは、郡山湖南町の耕作放棄地を観光農園として再生するプロジェクトを始動させました。さらに、そこで栽培した作物から6次化商品を開発しています。「環境、社会に役立つ私たちの取り組みを応援してください」と呼び掛けています。


No.8 福島のソウルフード「凍天」破産企業からの事業継承そして全国展開へ



木下 秀之 きのした ひでゆき
株式会社キノシタコーポレーション 代表取締役

たくさんの人にこの味を届けたい。木下さんは福島のソウルフード「凍天」の販路を開拓し、売り上げを伸ばしています。2021年には、「冷凍凍天」の商品化に成功し、地元大手スーパーをはじめ道の駅や高速道路のSAなどに卸販売するようになりました。キッチンカーも導入し、県内外問わず「凍天」の美味しさを知っていただけるよう取り組んでいます。「伝統を引き継ぎながら、新たなビジネスモデルを構築していきたい」と意気込んでいます。

No.9 AI経営管理 SaaS「GYAKUSAN」で、中小企業の生産性向上を目指す



山子 顕 やまこ けん
株式会社ギャクサン 代表取締役

山子さんは経営管理の標準化、デジタル化、AI化をビジネスとして進めており、AI経営管理 SaaS「GYAKUSAN」を開発しました。GYAKUSANは、企業の中長期の「ありたい姿」から現在までを逆算し、①数値目標の設定、②行動計画の策定、③進捗管理をサポートしてくれます。誰でも簡単に使える経営コンサルティング・伴走支援ツールです。「地域に根差す中小企業に役立っていく」。決意をにじませています。

過年度最優秀者プレゼン

過去に最優秀賞を受賞した2人が、本アワードへ申し込んだきっかけや、受賞実績がどのように事業に活かされているのか等についてプレゼンします。

【2021年度最優秀賞】
株式会社バイオマスレジホールディングス 取締役副社長 **中谷内 美昭氏**

【2022年度最優秀賞】
トレ食株式会社 代表取締役 **沖村 智氏**



審査員紹介



藤井 靖史氏 西会津町 CDO (最高デジタル責任者)

福留 秀基氏 スパークル株式会社 代表取締役

石山 純恵氏 株式会社クリア 代表取締役

小村 幸男氏 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部長

村上 崇広氏 株式会社東邦銀行 公務・地域商社事業課長

油川 一義氏 東北経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長

小松 利顕氏 福島県 商工労働部 産業振興課長